

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 035	提案機関名 環境農政局水・緑部水産課
要望問題 東京湾における有害、有毒プランクトンのモニタリングと発生時の関係漁協への連絡体制の確立	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 近年、東京湾側の漁協や漁業者グループが貝類養殖試験等を実施しており、収入源にもなりつつある。こうした中で、貝毒による食中毒は大きなダメージに繋がる可能性があり、リスクマネジメントをする必要がある。貝類養殖が盛んな自治体では県自らプランクトンのモニタリングを実施し、有害、有毒プランクトン発生時には確認された細胞数により注意報、警報など発令し、関係漁協などへ注意を促している。本県は、漁業関係者などへの連絡体制がまだ確立しておらず、モニタリングも十分とは言えない状況にある。こうした背景から下記のことを要望する ①春季から秋季までの間の東京湾における有害・有毒プランクトンのモニタリング ②有害・有毒プランクトン発生時の漁業関係者への連絡体制の確立	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画資源部（普及指導担当）
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 漁業の担い手育成・水産業改良普及活動		
対応の内容等	平成25年度に貝毒プランクトンモニタリング及び貝毒検査体制が整備されている岩手県を視察し、平成26年度から、北里大学海洋生命科学部の協力を受けて、普及活動の一環として月1回の貝毒プランクトンのモニタリングを実施しています。 しかしながら、麻痺性貝毒プランクトン（アレキサンドリウム属）の同定には、蛍光顕微鏡などの設備が必要で、かつ高度な分析能力が必要であり、漁業関係者への連絡体制の整備には至っていません。 さらに、貝毒プランクトンの発生状況と貝毒の毒量の関係について東京内湾では未解明な部分もあり、貝毒プランクトンのモニタリングとともに貝毒検査を実施する必要があります。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			